

生きいき憲法

(題字：日野原重明)



東京の九条の会をつなぐ

九条の会 東京連絡会

Contents

総選挙前に「九条の会」は何をするか 九条の会事務局長／東京大学名誉教授 小森陽一さん……………	1
東京 20 区市民連合（清瀬市・東久留米市・東村山市・東大和市・武蔵村山市）の取り組み 東京革新懇代表世話人／20 区市民連合事務局次長 松元忠篤さん…	4
このままでいいの？ くらし・命・政治 9・12 板橋市民大集会 チェンジ国政板橋の会 共同代表 荒川孝治さん……………	5
候補者一本化と少数者が民主主義に果たす役割 「市民と野党をつなぐ会@東京」共同代表 鈴木国夫さん……………	6

総選挙前に「九条の会」は何をするか

九条の会事務局長／東京大学名誉教授 小森陽一さん

新型コロナウイルスの感染が、今までにない拡がりとなつていの中で、菅義偉首相はきわめて無責任な形で政権を投げ出しました。自党内での「菅では選挙で勝てない」という声上がる中、総裁選に出馬しないことを表明したのです。結果としてマス・メディアは、九月一七日に告示となる自民党総裁選をめぐる報道一色となり、総選挙前に自民党大宣伝体制が形成されました。菅政権の姑息さを示すやり方です。

抜本的なコロナ対策をするために、野党が繰り返し要求している早期の臨時国会召集に対して、九月八日、自民党の森山裕国対委員長は九月中旬開催を拒否しました。同日日、「市民連合」は「衆議院選挙における野党共通政策の提言」を国会内で、野党に提出しました。この「野党共通政策」に対し、これを「共有し、その実現に全力を尽くします」という署名を、立憲民主党代表枝野幸男、日本共産党委員長志位和夫、社会民主党党首福島みずほ、れいわ新選組代表山本太郎の四氏が行いました。総選挙へ向けての、本格的な野党共闘の始動です。

この「共通政策」の第一項目が、「1憲法に基づく政治の回復」です。まず、「安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する」と

あり、次の項目は「平和憲法に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う」となっています。

この二つの項目は二〇〇四年六月、「九条の会」が創設されて以来、全国的にそれぞれの「九条の会」が自発的に各地域、職場、学園で取り組んできた運動そのものです。同時に、安倍晋三政権が、戦争法としての「安保法制」を二〇一五年に強行し、その前提をつくるために「特定秘密保護法」と「共謀罪法」が国会を通されていきました。それに反対する運動の中で、国会を包囲した市民の運動が統一されていきました。

「総がかり行動実行委員会」が結成され、二〇一五年の「安保法制」に反対する方向で、「立憲デモクラシーの会」「安全保障関連法に反対する学者の会」「安保関連法に反対するママの会」などが結成されました。これらの諸団体が二〇一六年に結成された「市民連合」を構成しています。こうした諸団体が、二〇一七年に、「安倍9条改憲NO!」の一致点で、3000万人署名を提起し、「市民アクション」を結成する際、全国の「九条の会」をはじめ組織として、この運動に参加しました。その意味で、「共通政策の提言」の「憲法に基づく政治の回復」は、「九条

の会」のこの間の運動方針と一致しています。この項目のくくりの中で、「核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する」、「地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する」という方針がかかげられています。

「2科学的知見に基づく新型コロナウイルス対

策の強化」は医療体制の整備を抜本的に進めることと、コロナ禍による倒産や失業に対する政策です。

「3格差と貧困を是正する」では、憲法第二十五条で保障されている生存権を保障するための、公的支援の充実と公平な税制が主張されています。

「4地球環境を守るエネルギー転換と地域分散

型経済システムへの移行」では、「原発のない脱炭素社会」をめざすエネルギー政策・自然災害対策、農林水産業支援が提起されています。

「5ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現」では「ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別」を許さず、平等へ向けての法整備等が示されています。

「6権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する」では、安倍・菅政権下のさまざまな疑惑の解明と、日本学術会議問題、公正な公務員人事です。

野党四党の政策合意は、この間「九条の会」が全国で進めてきた運動と、とても親和性があります。もちろん「九条の会」としては特定の政党や候補者を、組織として支持し選挙活動を行うものではありません。けれども、それぞれの地域、職場、学園の「九条の会」が、それぞれの持ち場で、四野党が合意した「野党共通政策」を広げ、可能な選挙区では野党統一候補の擁立や選挙活動に協力することは個人としては可能になります。

次の総選挙で安倍・菅政治に終止符を打つために、「共通政策」に基づく野党四党の協力を後押しできるように、それぞれの地域、職場、学園の状況に基づいて、創意工夫をした活動を進めていきましょう。

5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

- ・ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別を許さないために選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させるとともに、女性に対する性暴力根絶に向けた法整備を進める。
- ・ジェンダー平等をめざす視点から家族制度、雇用制度などに関する法律を見直すとともに、保育、教育、介護などの対人サービスへの公的支援を拡充する。
- ・政治をはじめとした意思決定の場における女性の過少代表を解消するため、議員間男女同数化（パリテ）を推進する。

6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

- ・森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。
- ・日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
- ・内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。

2021年9月8日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

上記政策を共有し、その実現に全力を尽くします。

立憲民主党代表

枝野 幸男

日本共産党委員長

志位 和夫

社会民主党党首

福島 みずほ

れいわ新選組代表

山本 太郎

泥舟は船長より船を変えるべし
 (9月6日付「日刊ゲンダイ」見出し 五十嵐仁さん発言内容より)
 井そうだ選挙に行こう！ (箱崎作次さん)

衆議院総選挙における野党共通政策の提言

—— 命を守るために政治の転換を ——

新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の破綻は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である。

市民連合は、野党各党に次の諸政策を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめざすことを求める。

1 憲法に基づく政治の回復

- ・ 安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
- ・ 平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
- ・ 核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
- ・ 地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

- ・ 従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
- ・ 医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの待遇改善を急ぐ。
- ・ コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人や企業を救うため、万全の財政支援を行う。

3 格差と貧困を是正する

- ・ 最低賃金の引き上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
- ・ 誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し、子育て世代や若者への社会的投資の充実を図る。
- ・ 所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また低所得層や中間層への再分配を強化する。

4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

- ・ 再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する。
- ・ エネルギー転換を軸としたイノベーションと地域における新たな産業を育成する。
- ・ 自然災害から命と暮らしを守る政治の実現。
- ・ 農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する。

●九条の会ブックレットのご案内●

「菅政権の成立と改憲問題の新局面——改憲発議阻止のために——」

I. バイデン政権の成立と日米軍事同盟の強化 —— 第5次アーミテージレポートにもふれて ——
 布施祐仁 (ジャーナリスト/「平和新聞」編集長)

II. 「敵基地攻撃能力保有」のいま 前田哲男 (軍事評論家)
 学術会議会員任命拒否と反憲法政治 小澤隆一 (九条の会事務局/東京慈恵会医科大学教授)

発行：2021年4月1日 判型：A5判64頁 頒価：1冊500円 10冊以上400円(2割引)
 ※送料は別途がかかります。ご注文は九条の会へ

九条の会事務局
 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303 TEL.03-3221-5075 FAX.03-3221-5076
 Eメール：mail@9jounokai.jp

